

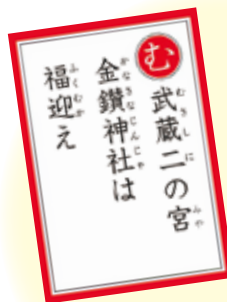


かみかわ町議会だより

No. 65

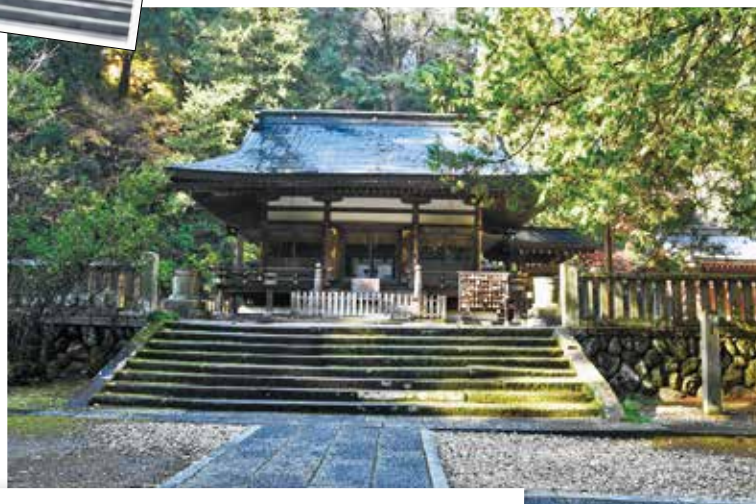
令和4年
3月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

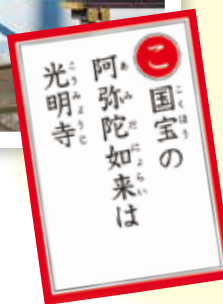


最終ページにかかるたの
説明があるよ

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。



撮影者「フォーカス友の会」
舟山 カウ子さん／馬場 勲さん



主な内容

- 令和3年12月定例会 一般会計補正予算(子育て給付金)等を可決 … P.3
6名の議員が一般質問を行う … P.4～9
- 新しい議員を紹介します … P.12

議会の傍聴について

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

第1回定例会は3月 3日(木) [午前9時～ 一般質問等] から
16日(水) [午前9時～ 質疑・討論・採決等] を予定しています。

●編集 神川町議会運営委員会 〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
●発行 埼玉県児玉郡神川町議会 ☎0495(77)0707
<http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

12月定例会を開催

令和3年第7回神川町議会定例会は、12月3日から10日までの8日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和3年度一般会計及び特別会計の補正予算6件、条例の制定・改正5件、人事案件1件、計画策定等2件が審議されました。(議案一覧及び審議結果は3ページをご覧ください。)

なお、陳情書及び意見書は採択・可決されました。(意見書は10ページをご覧ください。)

一般質問は12月3日に行われ、6名の議員が町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。

質問者	質問事項	質問要旨	掲載頁
柴崎 愛子	1. 交通安全対策について	1 神川中学校北から八日市方面の歩道工事完了に伴う「自転車通行可」の道路標識設置について 2 町内歩道の「自転車通行可」の確認と町民への周知啓発について	4
川浦 雅子	1. 事業者支援について	1 中小企業者と農業者への支援について	5
	2. 病児保育について	1 新丹荘保育所に設置される病後児保育やアレルギー対応等に関して保護者への理解と対応について	
	3. セルフネグレクトについて	1 早期発見と対応について	
坂本 貴佳	1. 町の脱炭素化社会対応について	1 クリーンエネルギーについて 2 資源ゴミの回収推進について	6
廣川 学	1. 町唯一の駅である丹荘駅に対する町の考え方について	1 八高線の電化、複線化について 2 丹荘駅の現状と課題について	7
田中 隆久	1. 新型コロナウイルス対策について	1 今後の感染防止対策について 2 今後の町内の経済対策について	8
	2. 4年間の取組と成果について	1 様々な課題への対応と総括について	
赤羽奈保子	1. 日常生活用具給付の事業について	1 給付用具の拡大について	9
	2. 子育て応援アプリの導入について	1 子育て環境の充実について	
	3. 空き家・空き地等の管理について	1 空き家・空き地等の現状と対策について	

※12月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも3月上旬から閲覧出来ます。



12 月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

議 案 名 等 と 主 な 内 容		審議結果
町 長 提 出 議 案	令和3年度神川町一般会計補正予算（第4号） 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、子育て世帯を支援するため臨時特別給付金給付事業9,313万6千円など。歳入歳出各1億1,699万7千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各65億891万7千円とするもの。	○
	令和3年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各3,701万8千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各15億6,358万3千円とするもの。	○
	令和3年度神川町営バス事業特別会計補正予算（第1号） 町営バス運転業務委託の債務負担行為を設定するもの。	○
	令和3年度神川町観光事業特別会計補正予算（第2号） 城峯公園及び冬桜の宿の指定管理料の債務負担行為を設定するもの。	○
	令和3年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） 渡瀬浄化センターの汚泥収集処分委託の債務負担行為を設定するもの。	○
	令和3年度神川町水道事業会計補正予算（第2号） 水道メーター検針業務委託等の債務負担行為を設定するもの。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

12 月定例会議案一覧及び審議結果「条例・人事案件等」

議 案 名 等 と 主 な 内 容		審議結果
町 長 提 出 議 案	神川町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法等の施行に伴い、条例を制定するもの。	○
	神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	○
	神川町国民健康保険条例の一部を改正する条例 健康保険法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	○
	神川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	○
	神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 人事院規則15-14の一部改正に伴い、町職員の不妊治療に係る通院等による特別休暇を加えるため、所要の改正を行うもの。	○
	町道路線の変更について 町道敷地の払下げにより、町道（新里地内）の起終点を変更するもの。	○
	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 長谷川隆氏の任期満了（令和4年6月30日）に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意されました。	○
	神川町過疎地域持続的発展計画について 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条第1項の規定により、新計画を策定するもの。	○
陳 情 ・ 議 員 提 出	「沖縄戦犠牲者のご遺骨が含まれる可能性のある沖縄本島南部からの土砂採取、使用をしないこと」を神川町議会として国へ求める意見書の採択についての陳情 総務経済常任委員会では、「全会一致」により採択され、本会議でも採択になりました。詳しくは、10ページをご覧ください。	○
	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書 詳しくは、10ページをご覧ください。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）



柴崎 愛子 議員

交通安全対策

◆自転車の安全確保

交通ルール啓発

平成26年から8年間にわたり工事が行われてきた神川中学校北から八日市方面の歩道工事が今年度完成しました。この道路は、神川中の生徒や高校生が多く登下校に利用しています。第2次神川町総合計画の交通安全の推進に、交通事故をなくすため、交通規制表示の明瞭化の表記があります。歩道の自転車通行可の道路標識設置について、町の考えを伺います。

また、他の地域で歩道での歩行者と自転車の事故が多く発生したことにより、『自転車は軽車両で車道の自転車通行帯を走らなければならない』という報道を見聞きしたためでしょうか、数年前から県道を自転車で走行する人を目にします。非常に危

険を感じています。

神川町に自転車通行帯は有りません。町内歩道の「自転車通行可」の確認と町民への周知啓発についてどのように示すのが良いか、また、安全対策をどのように考えているのか、町の考えを伺います。

答え 町長

「標識設置を要望し、標識の見える化も検討します」

自転車は道路交通法上、軽車両のため、車道を左側通行することが原則ですが、自転車通行可の標識がある区間では、直ちに停止できる速度であれば、歩道内の通行が認められています。標識の指定は、県の公安委員会の所管となるため、必要な場所については、指定並びに標識設置に向けて要望していきます。また、町内歩道の自転車通行可の標識が設置されている道路

は、県道22号線、県道289号線、渡瀬地内の町道、児玉工業団地内の町道の4路線に、その標識が設置されています。この標識が無くても安全確保のため、

車道を通行することが危険であると認められる場合は、通行が可能です。周知啓発は、学校での交通安全教室や、広報等による見える化を検討していきます。

◀設置が求められる「自転車歩道通行可」の道路標識



▶標識設置の拡大が必要と思われる町道と歩道 (八日市方面から撮影)





川 浦 雅 子 議員

事業者支援

◆地域振興の担い手を守る！

ウッドショックにより中小建設業者が危機に瀕しています。半導体不足では電線を扱う小規模事業も仕事が減っています。また、農業は、米価大暴落や原油価格高騰により負担増です。事業者は、「国が輸入に頼ってきたからだ。」と言っています。国保税軽減を含めた住民を守る支援策を伺います。

答え 町長

「支援の継続と情報を周知します」

事業収入が減少した事業所等には、一律5万円を給付する神川町中小企業者定額給付金の申請を受け付けています。農業者向けは、認定農業者支援事業、新規就農者農業機械購入費補助事業、特産品振興事業等を行っています。

病児保育

◆安全・安心の保育環境へ

国保税の軽減は、18歳以下第3子以降の子どもの均等割減免も実施しています。今後、国へ公費の投入などの財政支援措置を要望していきます。

保護者は職場を休みづらい環境で働く方も多く、また、子どもは、発熱、咳、鼻水等の回復に幾日もかかるケースもあります。丹荘保育所に設置される病後児保育は、保護者のイメージとは違うようなので、内容を早めに関係者に伝えていただき、食物アレルギー等も、保護者の協力を得られる対応を取っていただきたいので、町の考えを伺います。また、保育士には、安定した働く環境が必要と思いますが、正規保育士を増やす考えはあるのか、伺います。

答え 町長

「早急な利用案内と知識習得、職場環境を改善します」

新丹荘保育所内の病後児保育室の設置は、できるだけ早く利用案内等ができるように準備していきます。アレルギーを持つ子どもへの対応は、保育所入所説明会などで保護者に聞き取り調査を行い対応しています。

さらに、保護者や保育士等にアレルギーに対する知識の普及啓発、相談体制の構築、研修会の実施等を通じた支援をしていきます。また、保育所の正規職員と会計年度任用職員の比率を改善していきます。

セルフネグレクト

◆自己責任に

させない支援を！

セルフネグレクトは、何らかの生活のしづらさ生きづらさを抱えているのに、誰にも助けを求めない状態を言います。孤立死に至ることもあり、『緩やかな自殺』と呼ばれる場合もあります。生きるのが苦しい、もう生きていることに疲れた、という状態にある方を孤立させない

よう、早期発見、早期対応できる体制強化について、考えを伺います。

答え 町長

「訪問の実施と予防的観点の周知に努めます」

セルフネグレクトは、社会生活の維持に必要な個人衛生や健康行動を放任、放棄している状態と定義されています。ごみ屋敷や孤独死等の原因とも言われ、背景には、社会的に孤立している傾向があります。

地域包括支援センターや保健センターでは、訪問などを実施し、セルフネグレクトへの理解を深め、予防的観点を持てる周知も考えています。

また、毎年3月の自殺対策強化月間に合わせ記事を広報等に掲載し、ゲートキーパーの養成にも力を入れていきます。





坂本貴佳議員

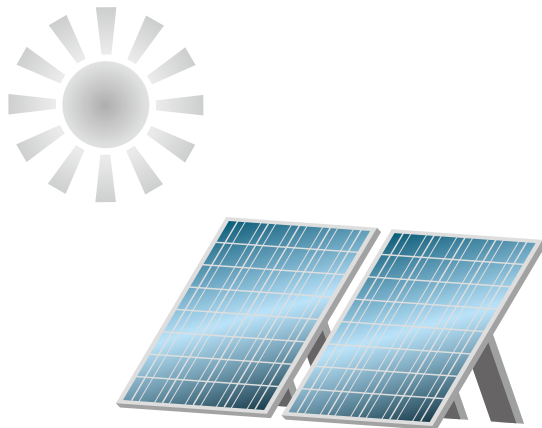
町の脱炭素化社会

◆脱炭素化で世界貢献を

建設中の丹荘保育所を見学しましたが、脱炭素化対応が出来ていません。神川町役場本庁舎は使用電力の13%を太陽光で発電していますが、庁舎より新しい設計の保育所及び、令和3年9月議会で提示された新神泉総合支所の建設案にも、その点が全く考慮されていません。令和3年6月議会で執行部から『総合計画、総合戦略等を見直す際に検討が必要な課題』と回答がありました。これら物件が何故見直し対象物件でないのでしょうか。消費する電力の削減を図るとともに、非化石燃料電力の導入による脱炭素化を図る考えがあるのか伺います。

また、身近な問題として缶類、ペットボトル、ビン類等を一般

ゴミでなく、利用可能な資源ゴミとしての回収・再利用を推進し、微力でも日本及び世界の脱炭素化に貢献する考えがあるのか伺います。



答え 町長

「最新技術を注視・クリーンエネルギー導入を検討します」

新丹荘保育所は、保育士の意見も反映し、主に子どもたちのトイレを主眼に整備しました。太陽光発電は予算との兼ね合いで有用性を生み出す事が出来ないことや、また、神泉総合支所の太陽光発電装置の設置は、費用対効果の面から整備は考えていません。

今後の太陽光発電等のクリーンエネルギーの導入は、神川町



資源を守るリサイクル

公共施設長期保全計画のなかで、最新技術を注視しながら導入を検討します。

小山川クリーンセンターへ搬入した神川町内のごみは年々増加し、その内、資源ごみの収集量は年度により増減しています。町では、資源ごみ収集のほか、小型家電の回収や、リサイクル活動団体にはリサイクル活動推進奨励補助金を交付しています。今後も資源ごみの回収は、町民の皆様に適正に排出していただくよう、回覧等を通じて周知します。



廣川 学議員

町内唯一の丹荘駅

◆丹荘駅に対する 町の考え方を聞く

毎年、八高線活性化促進協議会で、八高線の電化、複線化などの要望活動をしています。

JR東日本は、今年の春に固定費削減から、「非電化・単線化」を進めるとのことです。電化を要望するより、あえて非電化車両を売りにするべきではないでしょうか。

また、車椅子で児玉駅から乗

車する場合は、介助が必要になる場合があるので、『バリアフリーになっていない丹荘駅から乗ってほしい』と言われることもあるそうです。

さらに、駅前には、駅の周りの地図と自転車利用の「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク」の看板もあります。神川町の入口として、この魅力的な駅を、なぜ、活用しないのでしょうか。そして、通学通勤時に県道の踏切で渋滞が起きています。駅から近いので、早めに踏切を閉めるのですが、もう少し踏切の閉まっている時間を短くしてもらえるように交渉は出来ないのか、伺います。

答え 町長

「観光PRの場」に有効活用

電化、複線化は、速度や快適性の向上、また列車の増発、増結等を目的に八高線活性化促進協議会の構成17の市と町と共同で要望しているの、参加団体として要望を引き続きしていきます。

丹荘駅は、平成27年7月に単



町の魅力に繋げる必要のある丹荘駅前

式ホーム1面1線となり、ホームの移動することなく利用できるようになりました。新駅舎の建設時、丹荘小学校の児童が作成した冬桜をモチーフとした手形桜を正面に配置するなど、親しみやすくなっています。

丹荘駅を観光PR等に有効活用するため、駅舎内に観光パンフレットや掲示物等を設置するなど、今後JR東日本と調整します。

また、下りの車両が停車している時点で遮断機が閉まり、時間が長くなり、通勤、通学時には県道の交通渋滞が発生します。踏切の遮断時間等は、国の安全基準等によるもので、安全を優先しています。



田中隆久議員

新型コロナウイルス対策

◆感染防止・経済対策に 全力を

町内の新型コロナウイルス感染状況は、2回のワクチン接種も順調に進み、全国的に第5波と言われた8月をピークに感染者数は減少し、現在落ち着きを見せている状態が続いています。

今後、町では、第6波と言われるような状況となり、感染者数が増加した場合、感染拡大を防止するため、どのようなことを準備・検討しているのか、伺います。

また、新型コロナウイルス感染状況の長期化により景気の冷え込みが続き、町内中小企業者も大きな打撃を受けています。

これから町内の景気回復に向けた経済対策について、引き続き、どのような事業実施の考えがあるのか伺います。



答え 町長

「ワクチン接種体制を整え、 経済対策に努めます」

感染拡大防止は、ワクチン接種が第一と考えられるため、3回目のワクチン接種に注力していきます。3回目の追加接種を行うことが国で示され、集団接種会場への日時の割り振りを通知する手配や送迎の対応も実施する予定です。

また、今後第6波と呼ばれるような感染者数が増加した場合

ですが、自宅療養者へのパルスオキシメーターの貸与や、食料品、生活必需品を提供できる準備も整い、状況に応じた体制を構築していきます。

今後の町の経済対策は、新たに事業者支援策として、来年3月31日を申請期限として、神川町中小企業者等定額給付金を実施しています。

4年間の取組と成果

◆まちづくりの

自己総括を

山崎町長は、9月の一般質問で、次期町長選への不出馬を表明しました。在任期間中、新型コロナウイルス対策や台風19号による災害対策対応など多くの課題に対応し、町のかじ取り役として先頭に立ち、手腕を発揮されてきました。

在任期間を振り返って、自己総括を伺います。

答え 町長

「安心子育て・健康で長生き・ 活躍できるまちづくりを実施」

これまでの4年間、安心子育て

でのまちや健康で長生きできるまち、また、生きがいを持って活躍できるまちづくりを柱に事業を実施してきました。

新型コロナウイルス感染症への対応は、少ない情報のなかで未知のウイルスへの対応として感染予防の周知や物資の配布、さらに年間で2万1,000回以上というワクチン接種の実施など、今までに例のない対策をしました。

また、令和元年の台風19号への対応は、下久保ダムの緊急放流が予告され、地域住民の生命が脅かされるような状況になりましたが、いち早く避難所を開設し、明るいうちに避難ができる状況のなか、多くの方が避難することができました。

また、新庁舎の開所に合わせて、町民福祉課と保健センターで別々に手続きを行っていた子育てに関する窓口をワンストップで行えるようにしました。さらに、老朽化が懸念されていた丹荘保育所も、令和4年4月の開所に向け、順調に進んでいます。

一 般 質 問



赤羽 奈保子 議員

日常生活用具給付の事業

◆日常生活用具の 給付拡大を！

現在、神川町では障がいのある方に対し、日常生活用具購入の給付を行っています。そこで、指定難病でもある網膜色素変性症の方が使用する暗所視支援眼鏡や人口呼吸器の外部バッテリー等を日常生活用具の給付対象にする考えはあるか伺います。

答え 町長

「近隣市町の動向を注視・研究します」

日常生活用具の給付事業は障がいをお持ちの方の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付または貸与すること等により、福祉の増進に資することを目的とした事業です。

暗所視支援眼鏡や人口呼吸器の外部バッテリーを日常生活用具

具の給付対象としている県内の自治体は少ない状況です。給付事業対象品目への追加は近隣の市町の動向を注視しながら、検討・研究していきます。

子育て応援アプリ

◆子育て応援アプリの 導入の考えは？

子育て応援アプリは、近隣では、本庄市や上里町が導入しています。予防接種のスケジュールリングや子どもの成長に合わせた情報入手できるなど、子育て中のママには強い味方になると思います。このようなアプリを神川町でも導入していく考えはあるか伺います。

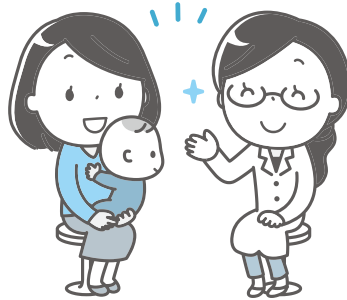
答え 町長

「現段階でアプリ導入の考えはありません」

町では現在、ネウボラの理念に基づき、妊娠届の時から全て

の方と保健師が面談を行い、信頼関係を築くなど、対面的な支援に重点を置いています。

今後、政府によるマイナンバーカードを活用した電子母子手帳事業の導入も予定されていることから、現段階でアプリ導入の考えはありません。



空き家・空き地等の管理

◆今後の空き家・空き地の 管理は？

適切な管理がされていない、空き地・空き家は、防犯、衛生、景観など、近隣に住んでいる方の生活環境に深刻な影響を及ぼしています。

今後、増えていくと思われる管理がされていない空き家・空

き地の整備をどうしていくのか町の考えを伺います。

答え 町長

「所有者の適正管理に繋がるよう努めます」

空き地の管理は現在の状況を確認し、所有者に対して適正な管理をしていただけるように通知しています。

空き家・空き地は、個人に管理責任があることから、適正管理に結びつける難しさもありますが、引き続き通知や空き家バンクの活用推進、老朽空き家除去補助金の利用により、適正管理に繋がるよう努めていきます。



総務経済常任委員会

「沖縄戦犠牲者のご遺骨が含まれる可能性のある沖縄本島南部からの土砂採取、使用をしないこと」を神川町議会として国へ求める意見書の採択についての陳情

12月7日(火)、総務経済常任委員会を開催し、陳情者出席のもと慎重審査いたしました。

陳情者の説明として、1,100名を超える埼玉県出身の沖縄戦犠牲者のことや、人権問題として捉えてほしいと説明がありました。議員からの質疑は、「政府が遺骨を収集すれば、土砂を使ってよいか」、聞いたところ、陳情者からは、「政府が丁寧な遺骨収集をしてくれればよいが、重機で行う方法では難しい。」などの説明がありました。

採決した結果、陳情第3号は、全会一致で「採択すべきもの」に決定しました。

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書

沖縄戦では、日本全国から召集された日本兵が「沖縄守備軍」として沖縄に駐屯し、悲惨な地上戦が繰り広げられ、多くの貴い命が失われた。糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなられた24万1,632名の氏名が刻銘されている。また、1,100名を超える埼玉県出身者の日本兵も沖縄戦の犠牲者となっている。

戦争で亡くなった人々の遺骨が入った土砂を埋立てに使用することは、基地建設の賛否に関わらず、人道的・倫理的観点から中止すべきである。

よって、下記の事項が実現されることを要請する。

記

- 1 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月10日

埼玉県児玉郡神川町議会議長 清水 敏信

11月30日臨時会を開催 臨時会議案一覧及び審議結果

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	神川町町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告等を踏まえ、職員と同様に町長等の期末手当の支給率を改定（0.15ヵ月減額）するもの。	○
	神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告等を踏まえ、職員と期末手当の支給率を改定（0.15ヵ月減額）するもの。	△
議員提出	神川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 町長、副町長、教育長等の給与改定の状況等に鑑み、町議会議員の期末手当の支給率を改定（0.15ヵ月減額）するもの。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

議案名称		議決等の結果	1 四方田繁男	2 桜沢 晃	3 田中 隆久	4 川浦 雅子	5 野口 弘吉	6 坂本 貴佳	7 清水 敏信	8 堀川 光宣	9 柴崎 愛子	10 廣川 学	11 落合 周一	12 赤羽奈保子
町長提出議案	神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○

○ 賛成 × 反対 — 清水敏信議長（議事進行）は採決に加わりません。

議会活動報告

議会活性化研修会

10月22日(金)、元寄居町議会事務局職員の倉本穰氏より「一般質問と質疑のポイント」と題し研修を受けました。

研修会では、質問の質の向上が重要と学ぶとともに、改めて、会議録や議員必携の活用が議会力に繋がることを確認しました。

また、議会だよりを活用して、町民に伝え情報共有を目指す必要があるとの説明もあり、今後、町民の皆さんに興味を持ち手に取って読んでいただける議会だよりを作っていきます。



新丹荘保育所建設現場 視察

11月1日(月)、文教厚生常任委員会・総務経済常任委員会合同で、建設中の新丹荘保育所を視察し、町民福祉課から、外観及び各部屋の配置説明を園庭予定地で受け、その後、安全に留意しながら園舎の一部を見学しました。

また、開所後、利用が予定されている丹荘公園までの移動方法を確認しました。議員から公道利用が考えられることから、安全面で危惧する声もありましたが、散歩等の園外活動を行うことは、身近な自然と触れ合う重要な機会です。

公園利用には、交通安全等に十分配慮することが必要と感じました。



イルミネーション設置作業

11月14日(日)、商工会の恒例事業となったイルミネーションの設置作業ですが、議会としてブースを受け持ち3年目になります。

昨年と同じく役場庁舎前を担当したので、段取りも良くスムーズに設置することができました。

コロナ禍で外出も儘ならず、気持ちも沈みがちな一年でした。イルミネーションが点灯されるのを見て、町民の皆様の心が少しでも明るくなれば良いなと思い、議員皆で飾り付けをしました。



文教厚生常任委員会協議会を開催

12月8日(水)全員協議会室で、上下水道課より『水道管における石綿管の布設状況』の説明があり、情報収集・意見交換を行いました。

令和2年度末の町内水道管の総延長は約145kmで、その内約14kmが石綿管であり、近隣3市町の残存1km以内と比べて、石綿管の更新は遅れています。総合計画では2027年度更新終了予定ですが、現状は年間約500mの実績です。

議員からは、石綿管の安全性（WHOでは安全と言われている）を疑問視する声があり、平成15年当時の全国平均（3.2%）までの残存要望がありました。



新しい議員を紹介します

欠員に伴う町議会議員補欠選挙は、令和4年1月30日に執行され、2名の新しい議員が誕生しました。



新井 太一 議員

昭和56年5月3日生
所属委員会 文教厚生常任委員会
職業 会社員
党派 無所属 当選 1回
住所 神川町大字
下阿久原819番地2

『届けます!!声をカタチに』をモットーに住みたくなる神川町を目指します。



福島 康弘 議員

昭和40年8月19日生
所属委員会 総務経済常任委員会
職業 会社員
党派 無所属 当選 2回
住所 神川町大字
肥土592番地11

皆様のご支援に『是々非々』の精神で行動発言し、神川町発展に取り組めます。

議員辞職のお知らせ

廣川学議員の辞職願が、12月17日付で許可され、桜沢晃議員の辞職願は12月23日付で許可されました。

今月号の表紙

国宝の阿弥陀如来（光明寺）

光明寺の本尊であるこの仏像は、鍍金に鍍金を施したもので、高さ48.8センチメートルです。背面の刻銘から、永仁3年（1295）につくられたことがわかります。丹党の旗頭新里四郎光明が守護仏として信仰していたといわれています。（県立歴史と民俗の博物館に出品中）

武蔵二の宮 金鑽神社

日本武尊が東征の際に創建したと伝えられる金鑽神社は、拝殿の奥にある御室ヶ嶽一帯をご神体として祀っています。したがって拝殿の奥にあってご神体を置くべき本殿が無く、拝殿のみという構造です。こうした拝殿のみで神体山をまつる、古い祭祀形態をとどめている神社は全国でも珍しく、長野県の諏訪大社と奈良県の大神神社とを合わせて3社だけとされています。

スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと

「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

*** 6月定例会は、6月7日（火）午前9時から開催予定です。**

